

今号のオフショット



編集後記

新しく生まれ変わった広報誌「HOSPICO+」をご覧いただきありがとうございます。2025年4月、当院は新理事長への世代交代とともに新たな一歩を踏み出しました。それに伴い、広報誌もより魅力的な内容をめざしてリニューアルしました。本号では、当院の今とこれからをお伝えする内容となっています。当院が持つ可能性や地域医療へのさらなる貢献に向けた思いを感じていただければ幸いです。

「HOSPICO+」を通じ、地域の皆さま、そして他の医療機関とつながりを深め、読者の皆さまに新しい発見や親しみを持っていただけるよう、努力してまいります。

これからも皆さまの信頼に応えられる病院をめざし歩み続けます。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

企画課・山中

ご意見募集中

「HOSPICO+」への皆さまからの
ご意見・ご感想を募集しております。
下記Googleフォームより
アンケートにお答えください。
お気軽に記入いただけますと幸いです。

 スマホの方はここから



 スマホ以外の方はここから

<https://forms.gle/DALF3WNIz8gNwi3W8>

HOSPICO+

広報誌「ホスピコプラス」
第1号（2025年5月30日発行）



「HOSPICO(ホスピコ)」は“ホスピタル・コミュニケーション”の略称です。
寿楽会グループが追求していることは、「医療を通じた人々との心のふれあい」であり、
その理念は「HOSPICO／ホスピタルコミュニケーション」という言葉に集約されています。
「HOSPICO+」には、これまで大野記念病院が大切にしてきた理念を土台に、
病院職員、患者さま、そして地域の方々とともに、
新たな価値を創造していくという思いが込められています。

お問い合わせ

企画課

〒550-0015 大阪市西区南堀江1-26-10
TEL:06-6531-1815 FAX:06-6536-6390

大野記念病院
ホームページ



特集

大野良晃 新理事長の決意

01

HOSPICO+

大野記念病院 広報誌 「ホスピコプラス」

Spring

2025.05



地域とつながり 人とつながり 未来を創る

理事長

大野 良晃

YOSHITERU OHNO



この度、2025年4月1日付で、社会医療法人寿楽会理事長に就任いたしました大野良晃と申します。前理事長である父・大野良興より法人運営のバトンを受け継ぎ、その責任の重さを深く実感するとともに、未来への希望と決意を胸に、新たな一步を踏み出す所存です。当法人は、急性期医療を担う大野記念病院を中心に、健康診断を目的としたクリニックや透析クリニック、介護施設を含む6つの施設を運営しております。「ホスピタル・コミュニケーション」を法人理念に掲げ、患者さまや利用者さまの人間性を尊重し、心のふれあいとトータルケアを大切にしたサービスを提供してまいりました。

近年、医療・福祉を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。高齢化や人口動態の変化、新興感染症の脅威、医療技術の進化、社会保障制度の変革など、私たちはこれまでにない多くの課題に直面しています。こうした変化に柔軟に対応しながら、持続可能な医療体制を築いていくことが求められています。

だからこそ、私は「人を大切にし、尊重する法人」としてさらなる成長を遂げることが重要だと考えています。職員が働きやすい環境を整え、挑戦の機会を創出することで、共に学び、共に成長できる法人をめざします。また、関係者の皆様とのつながりを深め、より強固な信頼関係を築きながら、安定した法人運営の実現に努めてまいります。

加えて、地域との連携をより一層強化することも、当法人にとって欠かせない課題です。医療・福祉は、病院や施設だけで完結するものではなく、行政、地域の医療機関、介護・福祉サービス、企業、そして住民の皆様との協力があってこそ、真に持続可能で包括的なものとなります。今後は、地域の皆様との信頼関係をさらに深め、互いに支え合いながら、安心して暮らせる社会の実現に貢献してまいります。

地域の皆様にとって、当法人は単に「何かあった時に訪れる場所」ではなく、日常の中で健康と幸せを支え続ける存在でありたいと願っています。社会医療法人寿楽会として、「患者さま・利用者さまファースト」の精神を大切にし、職員と力を合わせ、一丸となって、安心と信頼の医療・介護サービスを提供してまいります。

最後に、私は、「共感と信頼」を基盤に、相手を尊重し、その立場に立って感じ、考え、行動することを常に心がけています。それにより、より深い信頼関係が築かれ、さらなる挑戦が可能になると確信しています。皆様とともに成長・発展していく法人となるべく、誠心誠意努力してまいります。

今後とも、社会医療法人寿楽会を何卒よろしくお願い申し上げます。

NEW OPENING

01

ダ・ヴィンチによる 前立腺全摘除術の導入

より多くの方に最先端の医療を提供するため、「ダ・ヴィンチ手術センター」を設立しました。当院では、2024年1月より手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入し、専門性の高い医療を提供しています。今回のセンター設立により、治療体制をさらに充実させ、地域の皆さまに安心と安全をお届けすることをめざします。この技術は、限局性前立腺癌をはじめ、局所進行性前立腺癌(T3)や所属リンパ節転移(N1)等に特に有用です。また、拡大前立腺全摘除術や拡大リンパ節郭清術により、癌の根治が可能です。最適な治療方針や術式を患者さまとともに考え、安全性を追求しながら、合併症のない治療をめざします。どのようなことでも、ぜひお気軽にご相談ください。

高精度な手術で、抜群の根治性を向上

高精度なロボット技術で臓器や神経を精密に確認。周術期合併症を最小限に抑え、安全性の高い手術を提供します。根治性を損わず、身体への負担を軽減する「勃起神経温存術式」の提供も可能です。

個別化された医療の提供を実現

ダ・ヴィンチ手術センターでは、期待余命が10年以上のすべての前立腺癌患者さまが対象です。当院では年齢制限を設けず、患者さま一人ひとりのニーズに合わせた個別化医療を提供します。



ダ・ヴィンチ手術センター長
泌尿器科部長
まさの てつや
牧野 哲也 先生

患者さまの回復をチームでサポート

ダ・ヴィンチによる手術は低侵襲手術のため、小さな切開で治療が可能。術後の痛みを軽減し、患者さまの早期社会復帰が期待できます。また、チーム医療により患者さまが安心できる医療環境を整えています。

地域医療を担う病院としての役割

当センターの新設により、遠方へ通院することなく高度な治療が受けられます。より高度な治療が必要な場合は、大阪公立大学医学部附属病院泌尿器科と連携し、万全の医療体制を確保しています。

4
つ
の
魅
力

ダ・ヴィンチ手術センター



お腹のヘルニアセンター

見落としのない確実な診断

当院では全例で腹部CTを施行し、確実な診断が可能です。特殊なヘルニアやその他の疾患の発見にも対応可能です。専門医と連携し、見落としのない精度の高い診療を提供します。

経験豊富な専門医による手術

外科・消化器外科の専門医で豊富な経験のある医師が対応します。患者さま一人ひとりの状態に応じた最適な治療法を提案し、安全で質の高い医療を提供いたします。

患者さまの負担を減らす低侵襲手術

腹腔鏡治療がほとんどであり、低侵襲で創部も小さい特徴があります。術後の負担が軽減され、回復も早いいため、入院期間の短縮や早期の社会復帰が期待できます。

24時間対応で緊急時も安心

当院は大阪府の二次救急指定医療機関でもあり、術前術後の緊急時でも24時間対応可能となっております。急変時にも迅速かつ適切な処置を行うことができる環境を整えています。

実績ある専門医による 安心のヘルニア治療

ヘルニアとはお腹の臓器が何らかの原因で弱くなった部分から脱出した状態を指します。主に、鼠径部ヘルニア(鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、閉鎖孔ヘルニア)や腹壁ヘルニア(臍ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニア、傍ストマヘルニア)などがあります。特に鼠径ヘルニアが多く、日本では年間約15万人が手術を受けています。お腹のヘルニアは、脱出した臓器が戻らなくなる(ヘルニア嵌頓)こともあり、基本的には手術をお勧めしています。腹腔鏡治療のほか、患者さまの状態に応じて切開手術を行う場合もございます。入院期間は2泊3日が基本ですが、早期退院も可能です。お腹のヘルニアのご相談がございましたら、診察のみでも受診いただけますので、当センターへ気軽にお越しください。



お腹のヘルニアセンター長
消化器外科部長
のむら しんや
埜村 真也 先生

02

NEW OPENING

New opening

ロボット支援手術で高精度な関節置換術

- ミリ単位の精密な骨切削により、最適なインプラント配置を実現
- 患者個々の解剖学的特徴に合わせたオーダーメイド手術
- 軟部組織の温存により、術後の痛みや機能障害を軽減

専門チームによるトータルケア

- 透析、糖尿病などいろいろな内科、リウマチ疾患を併発している患者さまに対する人工関節置換術後のケアの実施

4つの魅力

低侵襲手術による早期回復

- 従来手術と比較し、術後の痛みや出血が軽減
- 人工関節専門リハビリテーションセラピストが早期回復をサポート

最新の医療機器と快適な治療環境

- 最新の手術室・リカバリールームを完備
- 退院後の定期経過観察の充実
- 大阪公立大学医学部附属病院によるフォローアップ体制を強化

年間100件以上の人工関節手術の実績

2006年に米国で開発され、バージョンアップを重ねてきた最先端ロボット支援システム Mako(メイコー)、CTナビゲーションシステムを活用し、精密かつ安全で低侵襲な手術が可能となりました。整形外科人工関節専門医、リウマチ専門医、麻酔科専門医、リハビリテーション医をはじめとする医療スタッフが一丸となりさまざまな病気が原因で関節に痛みのある患者さまに最適な医療を提供いたします。人工関節は単なる装置ではなく、“もう一度自由に歩きたい”という願いを叶える未来への架け橋です。ロボット技術と医師の知見を融合し最良の治療を提供することで患者さまの笑顔と新たな日常を共に作り出すことが我々医療人の使命であると考えます。

対象となる患者さま

- 変形性膝関節症・変形性股関節症、変形性肩関節症で痛みや機能障害がある方
- 関節リウマチ、膠原病、大腿骨頭壊死症等による関節変形・痛みが強い方
- 人工関節システム周囲骨折、人工関節の緩みによる再置換、人工関節後感染等が疑われる方
- 他院で人工関節手術を勧められたが、より精度の高い手術を希望する方 など

院長
山内伸一先生
ロボティクス人工関節センター長
やまうち しんいち

03

NEW OPENING

ロボティクス人工関節センター



多様な皮膚トラブルに最適なケアを提供する 皮膚科

このたび、大野記念病院に皮膚科外来が常設となりました。一般皮膚科では、湿疹、蕁麻疹、水虫など、さまざまな皮膚トラブルに幅広く対応いたします。また、毎週火曜日の創傷ケア外来では、血流障害による傷や、透析中・糖尿病の患者さまの治りづらい創傷や褥瘡を中心に診察し、専門的なケアを提供いたします。どなたでも安心して受診いただけるよう努めてまいりますので、些細な症状でもお気軽にご相談ください。

しまもと かほ
島本 佳保 先生



4つの魅力

● 幅広い疾患に対応

アトピー性皮膚炎、ニキビ、水虫や虫さされ、帯状疱疹など、多岐にわたる皮膚トラブルに幅広く対応します。

● 専門医による創傷ケア外来

足にできた治りにくい傷や褥瘡などさまざまな創傷に対して専門医が診察し、丁寧に対応します。

● 他科との連携による安心の治療

糖尿病内科、腎臓病内科、整形外科など、必要に応じて他の診療科とも連携し、より安心して治療を受けていただけます。

● 認定看護師による専門的ケア

皮膚・創傷ケアの専門知識を持つ認定看護師が在籍し、患者さまの症状に応じた適切なケアや治療をサポート。専門的な視点から、より質の高い医療を提供します。

身体と心をつなぎ、未来を支える 脳神経内科

脳神経内科では、力が入らない、しびれ、もの忘れなど、患者さまの日常生活に影響を及ぼす症状に真摯に向き合い、専門的な診療によって原因の解明と最適な治療をめざしています。また、認知症については、患者さま・ご家族の思いに寄り添い、安心と尊厳を大切にした診療を心がけています。これからも患者さま一人ひとりに寄り添い、より良い暮らしを支えてまいります。

たけだ あきとし
非常勤 武田 景敏 先生

4つの魅力

● 専門的診療で原因を特定

力が入らない、歩きにくい、手足のしびれ、震え、もの忘れなどの症状は、脳・脊髄・神経・筋肉の病気が原因である可能性があります。脳神経内科では、専門医がこれらの症状を総合的に診察し、原因を詳しく見極めます。

● 幅広い疾患に対応し生活の質向上が可能

中枢神経、末梢神経、筋肉に関わる幅広い疾患(神経変性疾患、神経免疫疾患、筋疾患など)を対象に診療を行っています。また、内科や精神科など他科の疾患との鑑別も積極的に行い、総合的な診療に努めています。

● 患者さまと家族さまに寄り添ったケアを提供

記憶力や判断力に影響を及ぼし、患者さまやご家族の日常生活にも深く関わる認知症の診療に力を入れています。専門医が早期発見と丁寧な診療を通じて不安を和らげ、安心して暮らせる毎日を支えます。

● 専門医による安心の診療体制

非常勤ではありますが、豊富な経験と幅広い専門知識を持つ専門医2名が診療を担当します。なお、大学病院と連携しており、さらなる検査や治療が必要な場合には、速やかにご紹介いたします。

医療関係者の皆さまへ

当院では紹介患者さまの円滑な受け入れ・診療連携を強化しております。ぜひお気軽に右記連絡先までご相談ください。

患者総合支援センター
06-6531-0819

受付時間
平日 9:00-19:30
土曜日 9:00-13:00



内科部長
岡本圭司先生
おかもと けいじ

患者さんに
向き合い続け23年
積み重ねた研鑽

子供の頃に診てもらった近所のお医者さんが、ユーモアのある先生で、いつか自分もその先生のように優しく、笑わせ、治してくれる医師になりたいと憧れを抱きました。それから勉学に励み、念願の医師になりました。全身を診る、人を診ることを大切にしている内科医局に入局し、23年間、目の前の患者さんと向き合い、さまざまな経験を培いました。今後も内科医としてさらなる研鑽を積み、目の前の患者さんのお役に立ちたいです。

にし はやて
西 颯先生
内科

腎臓から
全身をケアしながら
地域とともに歩む

腎疾患が全身の健康に深く関わること、そして患者さまとの長期的な関係が築ける点に魅力を感じ内科医、腎臓内科医の道を選びました。まだまだ未熟ではありますが、頼りになる先輩医師の先生方に教えを請いながらその背中をめざして研鑽を重ねております。丁寧でわかりやすく、患者さまに寄り添った診療を心がけ精進いたします。地域の皆さまの健康に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ただ りゅうま
多田 隆馬先生
外科

外科の専門医として
一人ひとりに
耳を傾け寄り添う

日本外科学会専門医として、大阪公立大学医学部附属病院の消化器外科に属しています。消化管疾患やヘルニア疾患の診療を得意としています。患者さまのお話をじっくり伺い、一人ひとりに合わせて治療を行うことを心がけています。心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。地域の方々の健康維持に貢献できるよう努めてまいりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

ひだ そうし
飛田 創史先生
消化器内科

内視鏡との出会いから
学び続ける日々を経て
一人ひとりに最善を

学生時代の病院実習で内視鏡という医療機器に出会い、その魅力に惹かれて消化器内科を選択しました。内視鏡の修練はもちろん、内科専攻医として内科疾患全般を診られるようにさまざまなことを学ぶ毎日です。知識や経験が必要不可欠な職業であるため、日々吸収することを忘れず、精進して参ります。これから大野記念病院の医師として、患者さま一人ひとりに合わせた治療のご提供に全力を尽くします。



整形外科
上 聡志 先生
かみはた さとし

最先端医療で
患者さまの
暮らしを豊かに

私の専門は人工関節（股関節・膝関節など）・一般外傷です。これまでのさまざまな病院で培ってきた経験を活かし、ロボット手術も可能な当院で、より良い医療を提供できると思います。整形外科医として、患者さまが少しでも苦痛なく、日々の暮らしをエンジョイできることを目標に精進して参ります。お困りのことがありましたら、なんでも遠慮なくご相談ください。これからよろしくお願いします。



やまざき ともひろ
山崎 智洋 先生
泌尿器科

丁寧な診療と確かな専門性で
地域の健康を支える

泌尿器科を専門にしています。日々の診療では、患者さん一人ひとりに寄り添うことを大切にしています。丁寧な説明と安心できる医療を心がけ、地域の皆様の健康を支える一助となれるよう努めていきます。症状を気軽に相談していただけるような雰囲気づくりを大切に、初めての方でも不安なく受診していただけるよう努めています。今後も専門性を高めながら、より良い医療の提供をめざしてまいります。



えなみ ひであき
江浪 秀明 先生
整形外科

姿勢改善で
明日のあなたを
少し上向きな心に

この4月から整形外科に参りました。肩が上がらない、腰が痛い、膝が曲がらない…そんな体の不調、放っておくと笑うのは膝だけになりかねません。体が軽いと、心もちょっと上向きになります。そんな毎日の“姿勢改善”をお手伝いできればと思います。治療は真剣に、会話はゆるやかに、体のことは何でもお気軽にご相談ください。今日よりちょっとだけ、明日がごきげんになりますように。どうぞよろしくお願いいたします。



いづつ だいき
井筒 大貴 先生
泌尿器科

大阪で育ち
学び続ける医師として
地域に恩返しを

私は泌尿器科専攻医として日々新しい発見や学びを得ながら診療させていただいております。泌尿器科での治療は薬剤による治療だけではなく、放射線治療、内視鏡治療、そして外科的手術と幅広い選択肢があるというところに魅力を感じ選びました。生まれも育ちも大阪なので、医師としてこれまで支えていただいた地域の皆様に還元できるように頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



地域に寄り添う大野記念病院を

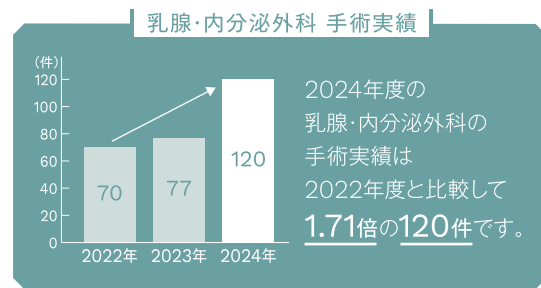
地域の皆さまの乳がんへの意識を高め、
甲状腺疾患の診断から治療までを遂行

乳がん治療は近年飛躍的に進歩し、患者さまの生命予後は大幅に改善しています。しかし、手術後に転移や再発をされる方、初めての診断で転移が見つかる方もいます。治療により治りやすいと言われる乳がんにおいても、早期発見・早期治療の重要性が全世界で唱えられています。乳がんは、9人に1人の女性が罹患する可能性がある非常に身近な病気です。「いつか自分にも起こるかもしれない」という意識を地域の皆さまに広め、検診や精密検査を通じた早期

治療の導入促進を目標に、乳腺診療の質をさらに高めてまいります。当院は、甲状腺センターを併設し、甲状腺疾患における良性から悪性疾患まで多岐にわたって診療可能です。大阪市内で診断から治療までを一貫して行える病院は少数で、遠方からのご紹介も受けています。さらに、内視鏡手術を導入し、首に傷を残さない治療法で、患者さまの負担軽減に努めています。私たちは、地域の皆さまに安心と確実な医療を提供するため、努力を続けてまいります。



野田 諭 先生
乳腺・内分泌外科部長



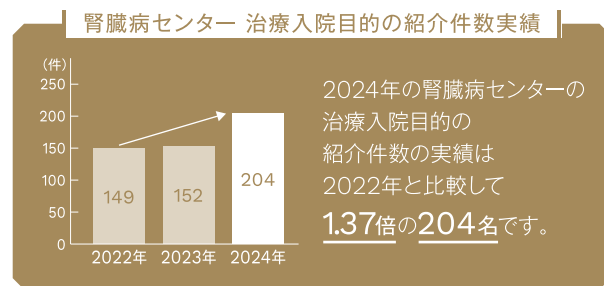
医学博士／日本外科学会専門医・指導医／日本乳癌学会乳癌専門医・指導医／日本内分泌外科学会専門医・指導医／日本超音波医学会専門医／精度管理中央委員会 検診マンモグラフィ読影認定医／乳がん検診超音波検査実施・判定医師／日本乳房オンコプラステックサージャリー学会乳房再建用エキスパンダー・インプラント責任医師／日本消化器外科学会専門医／日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医

地域とともに歩み続けた 透析医療50年の信頼と実績

井上 圭右 先生
腎臓病センター副センター長

大野記念病院は、前身となる外科大野病院が1924年の開院で、昨年100周年を迎えました。人工腎センターは1976年に開設され、現在50年目にあたります。現在につながる内科的腎疾患診療は、1989年の記念病院開院と時を同じくして始まり、大阪公立大学医学部腎臓内科をはじめとする諸機関との連携を強化し、現在に至っております。腎臓病センターでは、透析施行37,823件、紹介入院件数204件を実施しており、今後も地域の方々と諸医療

機関の皆様から必要とされる機能を維持していく所存です。透析は患者さまにとって生活の一部です。腎臓病センターは歩いて通える透析室をめざし、患者さまの足の状態を月ごとに確認して下肢病変を早期発見と治療に努めています。障害が生じた場合は、リハビリテーション部と協力してリハビリを行いADL維持に尽力しております。患者さまの普段の生活が少しでも良いものであることにお役に立ちたいと考えています。



医学博士／日本内科学会認定内科医／日本腎臓学会腎臓専門医

めざして-4人の医師が語る想い-

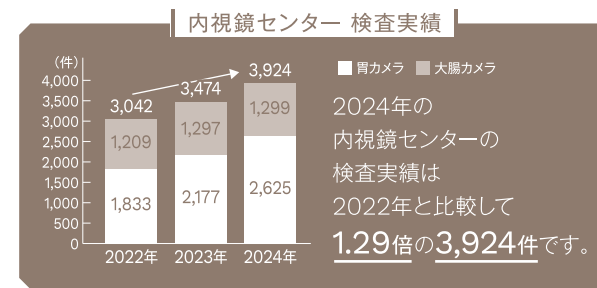
早期発見・早期治療のために
最新技術であるAI内視鏡を導入

2024年9月よりAI技術を活用した最先端の内視鏡検査を導入し、早期発見・早期治療に尽力しています。特に大腸がんは、日本人にとって罹患率が高いがんで、予防と早期発見が極めて重要です。AI内視鏡は瞬時に画像解析を行い、病変の見落としを防ぐことで、確実かつ迅速な診断が可能で、当院が採用するOLYMPUS社の「EndoBRAIN-EYE」は、患者さまの身体への負担を減らし、精度の高い検査を可能にします。消化器内科では月曜日から土曜日の午前診療

は予約不要で、内視鏡検査もスムーズに予約できます。特に大腸がんの罹患率が高くなる40歳から50歳以上の方には、便潜血検査や内視鏡検査を積極的に受けることをお勧めします。私たちは最先端技術を駆使し、地域全体の健康維持とがん予防に貢献したいと思っています。なお、大阪公立大学医学部附属病院と密な連携をとっており、より専門的な検査・治療が必要と判断された場合は紹介が可能です。どうぞ安心して診療・検査を受けてください。



勝野 貴之 先生
消化器内科部長



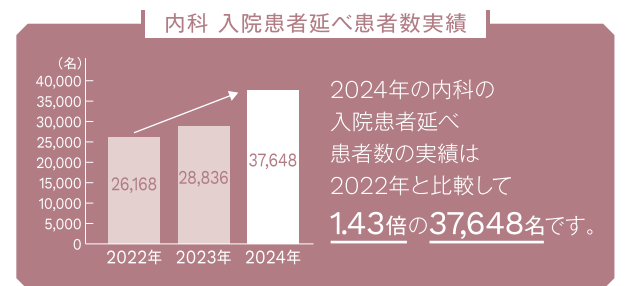
医学博士／日本内科学会認定内科医／日本消化器病学会消化器病専門医・指導医・近畿支部評議員／日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医・近畿支部評議員／日本消化管学会胃腸科専門医・指導医

患者さまのQOL向上を目的とした 膠原病・リウマチ医療の全人的ケア

藤澤 雄平 先生
膠原病・リウマチ内科副部長

膠原病・リウマチ診療においては、常に最新の医学的知見に基づき、診断と治療の質を一層向上させることをめざします。診断においては早期発見・早期介入の重要性を再認識し、関節エコーなどの画像診断も活用しながら、より迅速かつ正確な評価に努めます。治療面では、生物学的製剤やJAK阻害薬をはじめとする多様な選択肢を踏まえ、患者さまの病状や合併症、ライフプランや価値観を尊重した「個別化治療」を推進します。患者さまとの

対話を最重要視し、治療目標や選択肢の情報共有を十分にに行い、共に意思決定を行うプロセス(Shared Decision Making)を大切にしています。慢性疾患と向き合う患者さまのQOL(生活の質)向上を最大の目標とし、痛みや機能障害の軽減だけでなく、倦怠感や心理社会的側面にも配慮した全人的なケアを提供できるよう、看護師、薬剤師などの多職種連携をさらに強化し、チーム一丸となってサポート体制を充実させてまいります。



医学博士／日本内科学会総合内科専門医／日本リウマチ学会リウマチ専門医・指導医・評議員／日本腎臓学会腎臓専門医・指導医／日本透析医学会透析専門医／日本透析医学会VA血管内治療認定医／日本リウマチ学会登録ソノグラフ／難病指定医／日本医師会認定産業医

大野記念病院が 実現してきたこと

10

2024-2025

創立100周年とともに駆け抜けた2024年。

今後の躍進に向け、

常に「挑戦」の精神で前進し続けます。

患者さま、利用者さま、地域の方々、

寿楽会を取り巻くすべての人々とともに

大野記念病院の次なるカタチを築いていきます。

01 2024年1月

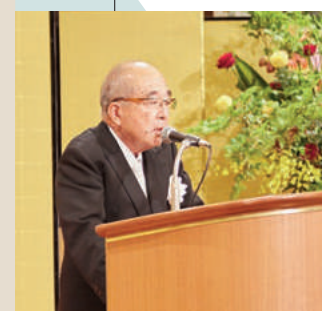
誇り高き100年、次なる未来へ

2024年1月1日に創立100周年を迎えました。

地域の皆様の支えに感謝し、

これからも真心を込めて

医療を提供します。



02 2024年6月



品質の証、病院機能評価 3rdGVer.3.0認定

公益財団法人日本医療機能評価機構 から
医療の質と安全性が認定されました。

03 2024年10月

未来の医療人へ メディカルキッズ開催

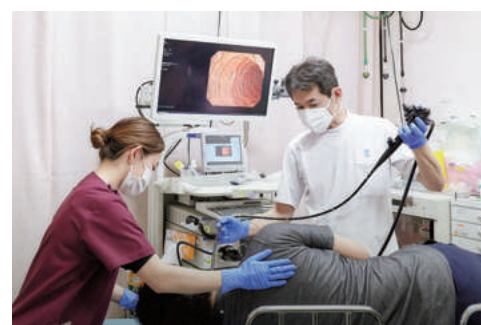
医療に興味を持っていたいただけるような
イベントを適宜開催し、地域の皆様が
健康に暮らせるような取り組みを
これからも続けます。



04 2024年11月

革新の未来へ AI内視鏡ロボットを導入

AI技術で地域医療を支え、
あなたの健康の未来を守ります。



05 2025年2月



信頼の証 経営デザイン認証取得

経営デザイン認証を取得し、
質の高い経営とサービスの提供について、
高い品質基準を満たしていることが
認定されました。

06 2025年3月

心を込めた対応 接遇スキル向上

外部講師を招き、対応の質を
高めるために研修を実施しています。

07 2025年4月

次の100年に向けて 心をひとつに

大野良興から大野良晃へ
変わらぬ思いで地域医療の発展に
尽力してまいります。



08 2025年4月

新たな挑戦 新設センターと診療体制の充実

地域のニーズに応え、診療体制を強化するとともに、
新たなセンターを設立しました。
より幅広い医療サービスを提供し、
地域医療のさらなる発展をめざします。

- ダ・ヴィンチ手術センター
- お腹のヘルニアセンター
- ロボティクス人工関節センター
- 皮膚科
- 脳神経内科

09 2025年4月

最新技術を駆使する整形外科 テレビ取材で紹介

先進テクノロジーであるMako が導く、
より正確で効果的な治療を実現している
当院整形外科が KSB京都「医療の現場最前線」で
特集されました。

10 2025年4月～

健康の輪を広げて 未来を育むイベント

地域の皆さまとの連携を深め、
健康で幸せに暮らせるよう、
常に新しい取り組みにチャレンジしていきます。

- 『ロコモセミナー』
- 『大野記念病院健康フェスティバル』
- 『大野記念病院ドクターセミナー×日曜検診』
- 『メディカルキッズ第2弾』
- 『腎臓フェス』

2024

VISION MAP 2035

私たちは、100年を超える伝統に誇りを持ちながらも、現状に満足することなく、さらに次の100年に向けて、新しい事に積極的に挑戦し、さらなる成長を追求するため、10年先のめざす姿としてVISION MAPを作成しました。地域の人々からの信頼を勝ち取り、職員が誇りを持てる病院へと進化し続ける事をめざします。

病院理念 PHILOSOPHY

私たちは、心のふれあいと
安全で質の高い専門医療を通して、
人々に最良の癒しを提供します。

存在意義

MISSION

地域から信頼される病院として、
人々の健康と笑顔を守ります。

理想像

VISION

南堀江になくてはならない
病院へと成長し、
職員が誇りを持てる病院をめざします。

「行動指針」

VALUE

熱い気持ち、冷静な判断

積極的な行動で

挑戦の渦を巻き起こす。

01 大野に関わる全ての「ひと」を大切に想い、
行動できる「ひと」を育てる。

02 新しい技術の積極的な導入と、
全体最適での成功を絶えず考える。

03 顔の見える地域連携を行い、
他の医療機関からの信頼を勝ち取る。

04 救急医療を充実させる事で、
地域に安心を提供する。

05 介護サービス事業所から、
大野があるから安心と思って貰える病院となる。

06 健康増進活動を積極的に行いながら、
地域の方々とともに成長し、新たな価値を創出する。

07 地域活性や地域貢献において、
業種を超えた活動を推進する。

08 大野で働いて良かったと思える職場へ
絶え間なく成長していく。

09 目標達成に向けて情報共有を徹底し、
心理的安全性の高い職場を創り出す。

10 大野で働いている人とその家族が、
大野で働く事を喜んでもらえる様に努力していく。

11 職員の挑戦と学びを支え、成長を実感できる
環境を提供し、ともに成長し続ける場を築く。

12 職員の持続的な成長を後押しするだけでなく、
未来の医療人育成の手助けを積極的に行っていく。

13 経営基盤を強化し、
健全な病院経営の為の努力を惜しまない。





セミナー	4/11(金) ●腎臓病教室	5/17(土) ●ロコモセミナー	6/28(土) ●健康セミナー	7/11(金) ●腎臓病教室	8/23(土) ●健康セミナー	9/20(土) ●ロコモセミナー	10/10(金) ●腎臓病教室	11/15(土) ●ロコモセミナー	12/20(土) ●健康セミナー	1/9(金) ●腎臓病教室	2/28(土) ●健康セミナー	3/21(土) ●ロコモセミナー
	4/26(土) ●健康セミナー	5/24(土) ●健康セミナー		7/19(土) ●ロコモセミナー	7/26(土) ●健康セミナー	9/27(土) ●健康セミナー	10/25(土) ●健康セミナー	11/22(土) ●健康セミナー		1/17(土) ●ロコモセミナー		3/28(土) ●健康セミナー
イベント			6/29(日) ●大野記念病院 健康フェスティバル	7月 ●川柳コンテスト			10月 ●大野記念病院ドクターセミナー ×日曜検診 ●フォトコンテスト応募	11月 ●メディカルキッズ ●フォトコンテスト投票				3月 ●腎臓フェス

大野記念病院 健康フェスティバル

6/29(日)

10:00-15:00

堀江中学校吹奏楽部による楽しい演奏と、当院の医療従事者による健康をテーマにした体験ブースをご用意しています！音楽の感動と健康の知識を、楽しく学びながら体験できる貴重な機会です。



ロコモセミナー

第③土曜日 (2ヶ月ごと)

10:00-11:00

ロコモティブシンドロームについての正しい知識や、予防のための運動・生活習慣のポイントをセラピストがお伝えします。

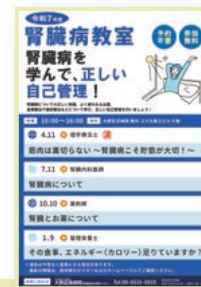


腎臓病教室

第②金曜日 (3ヶ月ごと)

15:00-16:00

腎臓病に関する正しい知識や、適切な自己管理ができるよう各専門職がサポートします。



メディカルキッズ

11月

子どもたちが楽しく医療や健康について学べるプログラムをたくさんご用意しています。病気の予防や体のしくみについて、専門職が実験や体験を交えながらわかりやすく解説。医療のお仕事に興味を持ちきっかけにもなるかもしれません。楽しみながら学び、子供たち自身の健康を支える知識を身につけましょう！



健康セミナー

毎月 第④土曜日

(12月のみ第3土曜日)

10:00-11:00

疾病予防の方法や日々の健康管理に役立つ情報を、毎月各専門職が皆さまにお届けします。



大野記念病院ドクターセミナー×日曜検診

10月



地域医療向上の一環として、「医師によるセミナー」と「日曜日検診」を同日に開催します。普段お忙しくて検診に行けない方々にも健康管理のきっかけとなるよう、日曜日に医療サービスを提供する特別な機会です。早期発見・早期治療は、健康を守るために非常に重要です。この機会にぜひセミナーで学び、検診を受け、未来の健康に備えましょう。



腎臓フェス

2026年 3月

3月に「世界腎臓デー」に合わせ、腎臓病への理解と予防を深める特別イベントを開催します。医師や専門職が分かりやすく解説する最新情報や予防法を通じ、健康を考える場としてご家族やご友人と共に楽しみながら学べます。ぜひこの機会にご参加ください！



参加方法

予約なしで参加できますよ！



事前予約不要

入場無料

※検診においては別途費用をいただきます。

開催場所は、大野記念病院内で詳しい場所や最新情報はホームページでお知らせします。

